

平成 27 年 2 月 24 日

各位

株式会社 北洋銀行

北門信用金庫と債権流動化に関する業務提携契約を締結しました

～債権流動化を通じた信用金庫との業務提携は 4 例目～

北洋銀行と北門信用金庫は、2 月 24 日付で債権流動化による地域の成長支援を目的とした業務提携契約を締結しましたのでお知らせします。信用金庫との債権流動化に関する業務提携は、北星信用金庫、帯広信用金庫、旭川信用金庫に続く 4 例目となります。

1. 概要

当行は、お客さまの資金調達と財務改善ニーズを同時に満たすことができる債権流動化業務を平成 16 年 1 月より開始しており、地域経済活性化の一環として担保・保証人に依存しない債権流動化を活用した地域密着型金融を推進しております。

2. 本件業務提携契約のメリット

これまで当行が道内外で蓄積してきた債権流動化のノウハウを、地場企業のお取引先を多く持つ北門信用金庫が活用することにより、相乗効果が期待できます。

特に、北海道の基幹産業で且つ公共工事比率の高い道内建設業界向けに幅広く利用いただくため、現在、滝川市に対して同市発注工事に関する完成工事未収入金債権の流動化を可能とする取り組みを、北門信用金庫と共同提案しており、前向きに検討いただいております。

この取り組みが実現すると、債権流動化業務を行っている金融機関であれば、どこでも利用できる様になるため、より多くの建設事業のニーズに対応可能となり地域貢献による活性化が期待できます。

3. 債権流動化について(詳細別紙)

債権流動化(特に完成工事未収入金債権流動化)とは、利用者が保有する一般の売上代金(建設業者の場合、完成工事に係る請負代金)の未収入金を、金融機関が直接買取ることにより、期日前の資金化および財務内容の改善ニーズに応えるものです。

4. 債権流動化のメリット

(1) 利用者のメリット

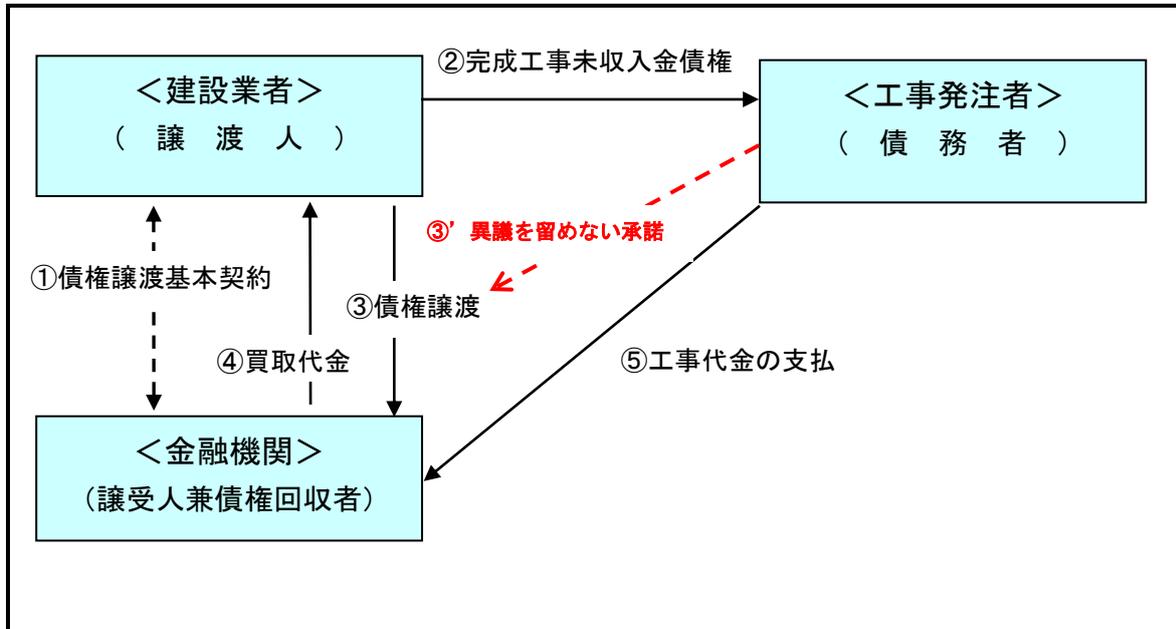
債権の流動化による新たな資金調達手段として、早期の資金化によりバランスシートのオフバランス化が図られます。その結果として、財務比率の改善や、建設業者の場合は、経営事項審査の評点アップ等に繋がります。

(2) 金融機関のメリット

新たな手数料ビジネスに繋がるとともに、お客さまに対する資金提供を行うことができます。当行は、本サービスにより道内のお客さまとの関係を従来に増して強化していくとともに、本資金提供を通じ、道内経済活性化に寄与して参ります。

以 上

《完成工事未収入金債権を例にした債権流動化のイメージ》



[説明]

- ① 建設業者と金融機関との間で債権譲渡基本契約を締結します。
- ② 建設業者は発注者に対する、完成工事未収入金債権を取得します。
- ③ 建設業者は発注者から債権譲渡の承諾を得て、金融機関に当該債権を譲渡します。
- ④ 金融機関は当該債権を買取り、買取代金を建設業者に支払います。
- ⑤ 金融機関は、発注者より直接債権の回収を図ります。

以上